

2014年9月19日

各 位

中外製薬が社会的責任投資指数 「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」 の構成銘柄に新規選定

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治〕（以下、中外製薬）は、社会的責任投資（Social Responsibility Investment、以下、SRI）の代表的な指数である「Dow Jones Sustainability Indices」（以下、DJSI）のアジア・太平洋版「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄として新規に選定されたことをお知らせいたします。

「DJSI」は S&P ダウ・ジョーンズ社（米国）とロベコ SAM 社（スイス）が作成する SRI 指標です。企業の社会的責任に関心を持つ世界中の投資家にとって、投資に際しての重要な選択基準の一つとなっており、企業の経済・環境・社会面での持続可能性（Sustainability）の評価により、毎年構成銘柄が選出されます。「DJSI Asia Pacific Index」は、日本・アジア・オセアニア地域の企業を対象とした指数で、今年度は同地域における主要企業 600 社がエントリーし、上位 148 社（うち日本企業 65 社）が選出されました。

DJSI の構成銘柄への選定は、対象企業へのアンケートや、その他の公開情報（アニュアルレポート、ウェブサイトなど）により審査されます。中外製薬は今年度よりエントリーし、経済・環境・社会の 3 分野における当社の積極的な取り組みが評価され、DJSI Asia Pacific Index への新規選定にいたしました。また、中外製薬の親会社である、F. ホフマン・ラ・ロシュ社〔本社：スイス・バーゼル市／CEO：セヴリン・シュヴァン〕は、DJSI の Pharmaceuticals、Biotechnology & Life Sciences Industry 部門において最高スコアを獲得し、6 年連続で同部門においてリーダーとして選出されています。

中外製薬は、今回新たに選出された「DJSI Asia Pacific Index」に加え、同じく世界的な SRI 指標であり、FTSE 社および EIRIS 社が選定する「FTSE Good Global Index」の構成銘柄にも、2003 年以来継続的に選定されています。

中外製薬は、「すべての革新は患者さんのために」という事業哲学のもと、革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献することで、生命関連企業として積極的に社会的責任を果たしてまいります。

以上